

大麻・けしの見分け方



大麻について

大麻は、その茎から丈夫な繊維がとれるので、昔から繊維をとる植物として栽培・利用されてきました。しかし、大麻は、大麻取締法でいう大麻草「カンナビス・サティバ・エル」のことであり、現在、**日本では無許可の栽培や所持等は法律で禁止されています。**

大麻の見分け方

全体的特徴

- ◎大麻は、春から夏にかけて生育し、成長が早く、大きいものは草丈が3mにもなりますが、種子をつけた後は枯れてしまいます。
- ◎よく成長した茎は太くまっすぐに立ち、浅い縦すじが通っています。



葉の 特徴

- ◎葉は、細長い柄の先に、3～9枚(通常は奇数)の小葉が集まって手のひらのような形になっています。
- ◎葉全体の大きさは10～20cmです。
- ◎葉脈は規則正しくほぼ等間隔に細かく入り、はっきりしています。



花の 特徴

- ◎花は夏に咲き、雄花と雌花が別々の株につきます。
- ◎雌株は、葉のつけ根に穂状の雌花を多数つけます。
- ◎雌花を摘むと、樹液でねばねばします。



雄花



雌花

大麻について

種子の 特徴

- ◎大麻の種子は、やや平たい卵形で、長さ4～5mm、幅3～4mm、1粒の重さ15～35mgで、色は灰緑色～黒褐色で表面に網状模様があります。種子の一端はややとがり、他の一端には果柄の跡があり、種子の両側には稜線があります。
- ◎七味唐辛子の成分でもあり、鳥のえさとしても販売されていますが、これらのものは、発芽しないよう処理されています。



※一目盛り1mm

大麻の不正栽培は、大麻取締法で禁止されています。
そのために大麻の種子を所持したり、提供したりすることは、
大麻取締法の処罰対象となります。
また、全ての大麻種子の輸入は厳重に規制されています。

大麻と間違われやすい植物

洋麻(ケナフ)

◎「麻」と名のつく植物は、大麻以外にも亜麻(リネン)、苧麻(ラミー)、黄麻(ジュート)など多数あります。このうち、大麻と間違われやすい植物として、葉の形が似ている洋麻(ケナフ)がありますが、**ケナフの葉は基部まで深く切れ込んでおらず、黄色または薄い黄色の大きな美しい花を咲かせます。**



ケナフの葉



ケナフの花



ケナフのつぼみ

※洋麻(ケナフ)、亜麻(リネン)、苧麻(ラミー)、黄麻(ジュート)は植えてもよい植物にあたり、規制はありません。

【大麻とケナフとの違い】



大麻



ケナフ

※ケナフの葉の切れ込みは、
大麻のように
深くはありません。



大麻 小葉(裏)



ケナフ小葉(裏)

※大麻の小葉の裏の支脈
(中心の太い葉脈の両側
の葉脈)と葉の縁にある
鋸歯(ギザギザの部分)は
ケナフより明瞭です。

けしについて

けしの仲間(ケシ属植物)は、春から夏にかけて色鮮やかで美しい大きな花を咲かせるものが多く、ガーデニングや切り花用の植物として人気があります。

しかし、**けしの仲間には、法律で栽培が禁止されているものがあります**。これらは、外観の特徴から、園芸用のけしと区別できます。けしの仲間を正しく見分けましょう。ソムニフェルム種の種子は「けしの実」としてお菓子等で食用に利用されていますが、発芽しないよう熱処理されていることなどから健康には影響ありません。

けしの見分け方

違法なけし ①

ケシ(ソムニフェルム種) 学名:パパヴェル・ソムニフェルム・エル

全体的特徴

- ◎一重咲きの花は、花びら4枚で、色は赤、桃、紫、白などがあります。
また、多数の花びらがついた八重咲きの花もあります。
- ◎開花期の草丈は、100～160cmです。
- ◎花が終わると雌しべが発達してふくらみ、だ円または球形で、上部が平たい皿のような形をした大きな果実(長さ3～7cm、径3～6cm)になります。



花の
種類

いろいろなソムニフェルム種の花



八重咲



一重咲



一重咲(一貫種)

※八重咲きの花は、「ぼたんげし」、または「ペオニ(フラワード)ポピー」の名で園芸用に出回ることがありますので、注意が必要です。

葉、茎
の特徴

- ◎葉、茎、つぼみなどの外観は、キャベツの葉のような白味を帯びた緑色をしています。
- ◎葉、茎、つぼみの表面には、ほとんど毛がありませんが、つぼみの下の茎(花梗)や葉の裏の主脈(葉の中心にある一番太い葉脈)には、まばらに毛がつくことがあります。
- ◎葉は互い違いに茎につき、上部の葉は柄がなく、**その基部は茎を抱き込むような形をしています**。葉の長さは10～50cm、幅は5～20cmです。



※この葉と茎の形が
ソムニフェルム種の
特徴です。

けしについて

違法なけし②

アツミゲシ(セティゲルム種)

学名: パパヴェル・セティゲルム・ディーシー

全体的特徴

- ◎花は、花びら4枚で、色は薄紫や赤があり、ソムニフェルム種よりも小形です。
- ◎開花期の草丈は50～100cmです。
- ◎葉、茎、つぼみなどの外観は緑色で、よく枝分かれ(分枝)します。
- ◎ソムニフェルム種よりも毛が多く、つぼみの表面やつぼみの下の茎(花梗)には毛があります。
- ◎葉は互い違いに茎につき、上部の葉は柄がなく、**その基部は茎を抱き込むような形をしています**。葉の大きさはソムニフェルム種よりも小形です。
- ◎果実はソムニフェルム種よりも小形です。



※アツミゲシは、比較的小柄でヒナゲシなどと間違えられることがありますので、注意が必要です。



アツミゲシ と ヒナゲシ の違い

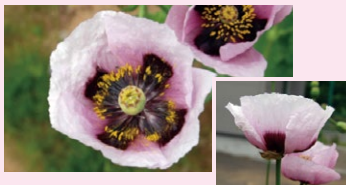
違 法 な け し ✕

アツミゲシ

違法ではないけし ○

ヒナゲシ

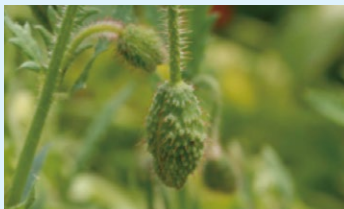
花



つぼみ

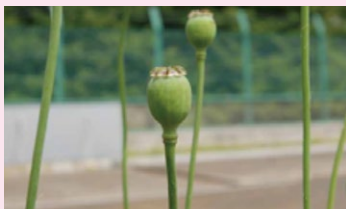


「つぼみの表面はなめらか」
「つぼみの表面と茎に毛がある」



「つぼみの表面に凸凹がある」
「つぼみの表面と茎が毛に覆われている」

果実



葉



「茎上部の葉は茎を抱き込む」
「葉の縁が不規則なギザギザ」



「葉は茎を抱き込まない」
「葉は深い切れ込みがある」

けしについて

違法なけし ③

ハカマオニゲシ(ブラクテアツム種)

学名: パパヴェル・ブラクテアツム・リンドル

全体的特徴

- ◎初夏に、径9～12cmの鮮やかな深紅の大きな花を咲かせます。
花びらは4～6枚で、基部に黒紫の鮮明な斑点があります。
- ◎花びらのすぐ真下に4～6枚のハカマ(苞葉)があります。
これは、果実ができて、果実の下の方の茎(果梗)が枯れるまで残り、
ハカマのように見えるので、「ハカマオニゲシ」の名前の由来となりました。
- ◎草丈は60～100cmで、葉や茎全体が白く硬い毛で覆われています。
- ◎葉は濃緑色で、鳥の羽のような形に深く切れ込んでいます。
地面に近い部分の葉(根出葉)は密についており、長い柄(葉柄)があり、
長さは柄を含め20～25cmです。
- ◎つぼみの表面には、硬く伏した(寝た)毛が多数ついています。
- ◎果実は、表面に毛がなく、青緑色です。

※ハカマオニゲシは、後述する「違法ではないけし」の「オニゲシ」と、
外観が非常によく似ています。

ハカマオニゲシの「鮮やかな深紅の花の色」、「花びらの基部に存在
する鮮明ではっきりした黒紫の斑点」、「つぼみの表面の伏した(寝た)
硬い毛(オニゲシの毛は直立している傾向がある)」は、両種の植物を
見分ける手がかりです。

※ハカマオニゲシは、「オニゲシ」あるいは「オリエンタルポピー」の
名で園芸用に出回ることがありますので、注意が必要です。



ハカマオニゲシ



オニゲシ

ハカマオニゲシ と オニゲシの違い

違 法 な け し ✕

ハカマオニゲシ

違法ではないけれ ○

オニゲシ

ハカマ(苞葉)



つぼみ



「表面の毛は寝ている」



「表面の毛は立っている」

花



果実



違法ではないけし(主なもの)

オニゲシ

全体的 特徴

- ◎初夏に、径9～12cmの橙～朱色の大きな花を咲かせます。
花びらは4～6枚で、基部に黒紫色の斑点があるものとないものがあります。
- ◎花びらのすぐ真下に1～5枚くらいのハカマ(苞葉)がつくものがあります。
- ◎草丈は50～100cmで、葉や茎全体が白く硬い毛で覆われています。
- ◎葉は濃緑色で、鳥の羽のような形に深く切れ込んでいます。
ハカマオニゲシに似ていますが、ハカマオニゲシに比べ、葉色は黄色味がかり、葉の幅は広い傾向があります。
- ◎つぼみを覆う2枚のがく片の表面には直立した毛が多数ついています(10頁)。
- ◎果実は、表面に毛がなく、青緑色です。

※植物の大きさの表記(cm)はあくまでも目安値です。
生育状態によっては、当てはまらないこともあります。



花



葉

アイスランドポピー



ヒナゲシ(虞美人草)



ブルーポピー



ナガミヒナゲシ



簡単なけしの見分け方

	植物の種類	草丈	葉の色	葉の特徴	毛の特徴	花
違法なけし	ケシ (ソムニフェルム種)	100~160cm	白味を帯びた緑色	・ふちが不規則なぎざぎざ ・葉の切れ込みが浅い ・茎上部の葉は茎を抱き込む(6頁)	・葉、茎、つぼみの表面には、ほとんど毛がない ・葉の裏の主脈やつぼみの下の茎にあることがある(6頁)	・大きさは8~12cm ・一重咲きは花びら4枚、八重咲きがある(6頁) ・色は赤、桃、紫、白など(6頁) ・花びらの基部に斑点があるものもある
	アツミゲシ (セティゲルム種)	50~100cm	緑色	・ふちが不規則なぎざぎざ ・葉の切れ込みがやや深い ・茎上部の葉は茎を抱き込む(8頁)	・葉の裏の主脈やつぼみの表面、つぼみの下の茎にある(8頁)	・大きさは6~8cm ・花びら4枚 ・色は薄紫、赤など ・花びらの基部に斑点があるものもある(8頁)
	ハカマオニゲシ (ブラクテアツム種)	60~100cm	濃い緑色	・鳥の羽のような(羽状)切れ込みがある ・花の真下に苞葉がある(通常4~6枚)(10頁)	・全体が白く硬い毛で覆われている ・つぼみの表面の毛は寝ている(10頁)	・大きさは9~12cm ・花びら4~6枚 ・色は深紅(10頁) ・花びらの基部に黒紫の斑点がある
違法ではないけし(主なもの)	オニゲシ	50~100cm	濃い緑色	・鳥の羽のような(羽状)切れ込みがある ・花の真下に苞葉があることがある(通常0~5枚)(10頁)	・全体が白く硬い毛で覆われている ・つぼみの表面の毛は立っている(10頁)	・大きさは9~12cm ・花びら4~6枚 ・色は橙~朱色(10頁) ・花びらの基部に黒紫の斑点があるものもある
	アイスランドポピー	70~80cm	緑色	・深い切れ込みがある(12頁) ・菊の葉に似ている	・全体が粗い毛で覆われている	・大きさは7~8cm ・花びら4枚 ・赤、桃、橙、黄、白など(12頁) ・ケシ属には珍しく黄色の花がある
	ヒナゲシ (虞美人草)	50~80cm	緑色	・深い切れ込みがある(8・12頁)	・全体が細かい毛で覆われている	・大きさは6~8cm ・一重咲きは花びら4枚、八重咲きがある ・色は紅、橙、桃色など(12頁) ・花びらの基部やふちが白色のものもある
	ブルーポピー	50~120cm	緑色	・切れ込みがあるものとなないものがある(12頁)	・全体が粗い毛で覆われているが毛の少ないものもある	・大きさは5~15cm ・花びら4~9枚 ・色は青~青紫(12頁) ・白、紫、紅紫の花が咲くものもある
	ナガミヒナゲシ	10~60cm	緑色	・深い切れ込みがある(12頁)	・全体が粗い毛で覆われている	・大きいもので径5~6cm ・花びら4枚 ・色は橙色~橙紅色(12頁)

植物に関するお問い合わせは…

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

●薬用植物資源研究センター・北海道研究部

〒096-0065 北海道名寄市字大橋108-4 ☎ 01654-2-3605

●薬用植物資源研究センター・筑波研究部

〒305-0843 茨城県つくば市八幡台1-2 ☎ 029-838-0571

●薬用植物資源研究センター・種子島研究部

〒891-3604 鹿児島県熊毛郡中種子町野間松原山17007-2 ☎ 0997-27-0142

作成協力：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター

各地方厚生(支)局麻薬取締部(支所)

北海道厚生局 麻薬取締部	〒060-0808	札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第1合同庁舎	☎011-726-3131
東北厚生局 麻薬取締部	〒980-0014	仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎	☎022-221-3701
関東信越厚生局 麻薬取締部	〒102-8309	東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎	☎03-3512-8688
横浜分室	〒231-0003	横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎	☎045-201-0770
東海北陸厚生局 麻薬取締部	〒460-0001	名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館	☎052-951-6911
近畿厚生局 麻薬取締部	〒540-0008	大阪市中央区大手前4-1-76 大阪合同庁舎4号館	☎06-6949-6336
神戸分室	〒650-0024	神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎	☎078-391-0487
中国四国厚生局 麻薬取締部	〒730-0012	広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎第4号館	☎082-227-9011
四国厚生支局 麻薬取締部	〒760-0019	高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	☎087-811-8910
九州厚生局 麻薬取締部	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第2合同庁舎	☎092-472-2331
小倉分室	〒803-0813	北九州市小倉北区城内5-1 小倉合同庁舎	☎093-591-3561
沖縄 麻薬取締支所	〒900-0022	那覇市樋川1-15-15 那覇第1地方合同庁舎	☎098-854-2584

不正栽培または自生している大麻・けしを発見した場合は

各地方厚生(支)局 麻薬取締部(支所)

都道府県薬務主管課

保 健 所
警 察 署

へ連絡してください。

【令和5年度版】